



若者のための デートDV LINE相談 @横浜

実施報告書

2022.2 男女共同参画センター横浜 相談センター

指定管理者：（公財）横浜市男女共同参画推進協会
〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町435-1 TEL 045-862-5058



実施概要

1 開室時間

2021年10月1日(金)～10月15日(金) 17:30～20:30

10月6日(水)、11日(月) 13:00～15:00 (定時制高校専用窓口)

※土日を除く計11日、13コマ

2 対象

横浜市在住・在学・在勤の10代、20代

3 実施体制

相談員：男女共同参画センター横浜 相談センター職員8名

4 システム

プラットフォーム：LINE (ビジネスID)

相談応答システム：KANAMETO (トランスコスモス株式会社)

5 広報

PRカード配布約50,000枚 (横浜市内中学校、高校、専門学校、大学へ配布)

横浜市公式Twitter、LINEへの掲載

男女共同参画センター横浜Facebook、Twitter、メールマガジンへの掲載 等

実施結果

1 友だち登録者数

114件 ※最終日10月15日時点

2 相談件数

29件 ※延べ

3 メディア掲載

朝日新聞、神奈川新聞、タウンニュース戸塚区版 等

実施団体

男女共同参画センター横浜



(指定管理者：公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会)

男女共同参画センター横浜には相談センターがあります。

女らしさ/男らしさにとらわれない、その人らしい生き方を応援する視点に立って、一人ひとりが直面するさまざまな問題について相談員がお聴きし、解決への道すじをごいっしょに考えています。

モットーは、「みんなで支援、みんなが資源」。

- 📞 心とからだと生き方の電話相談
- 📞 男女共同参画に関する人権侵害相談・申出制度
- 🍵 サポートグループ・セルフケアグループの実施 など



カップルのあいだで起きる暴力のことを、デートDVといいます。

暴力は、殴る・蹴るだけではありません。どなったり、携帯電話やSNSをチェックして行動を監視したり、性行為を強要するといった行為も暴力に含まれます。

交際相手からの暴力の被害は、女性5人に1人、男性9人に1人。10代の交際経験がある女性43.8%、男性の26.7%のうち、全体の37.9%が被害経験者といわれていて、3組に1組で起きている身近な問題です。*

こうした状況を受け、男女共同参画センター横浜では、電話相談を利用しづらいと感じている若年層に向けて、SNS（LINE）でデートDVについての相談を期間限定で開設しました。

*内閣府男女共同参画「男女間における暴力に対する調査報告書」、2016年実施「全国デートDV実態調査」より



3組に1組



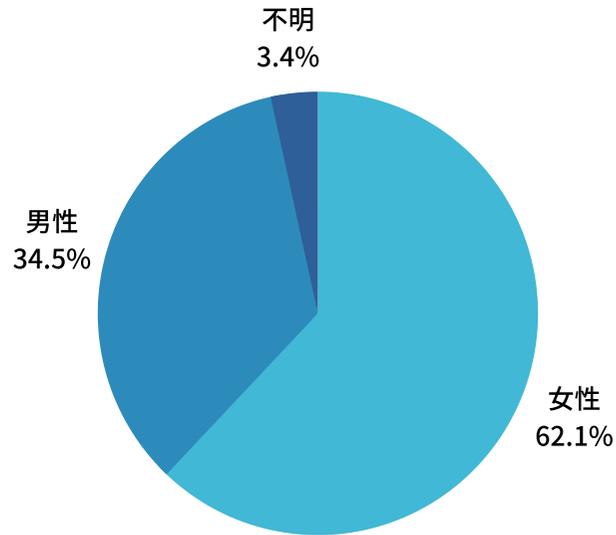
「若者のためのデートDV LINE相談@横浜」では、デートDVやSNSでの相談対応に関して専門のトレーニングを受けた相談員がお話をうかがいます。
男女共同参画センターが提供する相談として、女らしさ／男らしさにとらわれず、その人らしい生き方を応援する視点に立って、解決への道すじをいっしょに考えていきます。

若者のためのデートDV LINE相談@横浜 相談員が大切にしていること

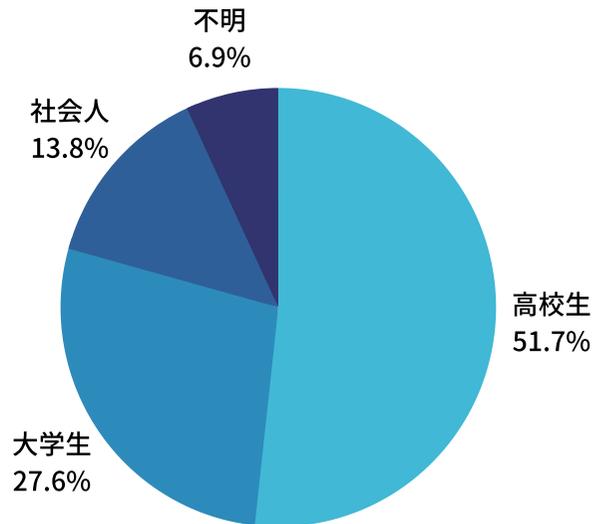
- 1 「相談していいんだ」と思ってもらおう
 - ・話してくれてありがとう！
 - ・大人を頼っていいよ。「つらい」「助けて」って言っていいよ
 - ・あなたは一人じゃないよ
- 2 「相談してよかった」と思ってもらおう
 - ・あなたの気持ちを否定せずに受け止めるよ
 - ・どうしたら解決につながりそうか、いっしょに考えよう
 - ・（こまめなあいづち）ちゃんと聞いているよ
 - ・あなたに伝わりやすい言葉で説明するよ
- 3 自己決定を尊重しよう
 - ・イヤなことはイヤって言っていいんだよ
 - ・あなたはおかしくないよ
 - ・「女（男）だから」「付き合っているから」と我慢しなくていいよ
 - ・あなた自身はどうしたいかな？
 - ・今すぐじゃなくても、あなたのペースで決めていいよ
- 4 デートDVについて知ってもらおう
 - ・暴力を受けていい人はいないよ
 - ・それっておかしいって思うよ
 - ・あなたには大事にされる権利があるよ
- 5 適切にアセスメント（見立て）をしよう
(実際にどれくらい危険だろう…?) (どういう状況だろう…?)
- 6 支援の資源につなげよう
 - ・〇〇というところがあるよ
 - ・友だち、家族、先生…だれが力になってくれそう？
 - ・あなたを助けてくれるものがきっとあるはずだよ。いっしょに探してみよう

傾向① n = 29

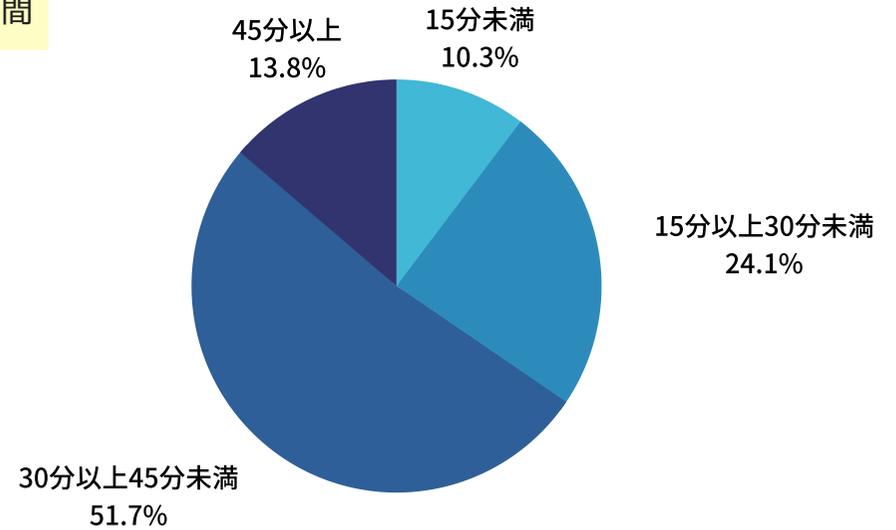
1 性別



2 属性



3 相談時間



リピート率

43.7 %

2回、3回と利用を重ねるなかで時間をかけて気持ちが整理されたり、状況の変化に合わせて解決の方法を考えたりすることができました。相談員は日々交代するため、密にコミュニケーションをとり合い、相談者の状況を共有・検討しながら対応しました。



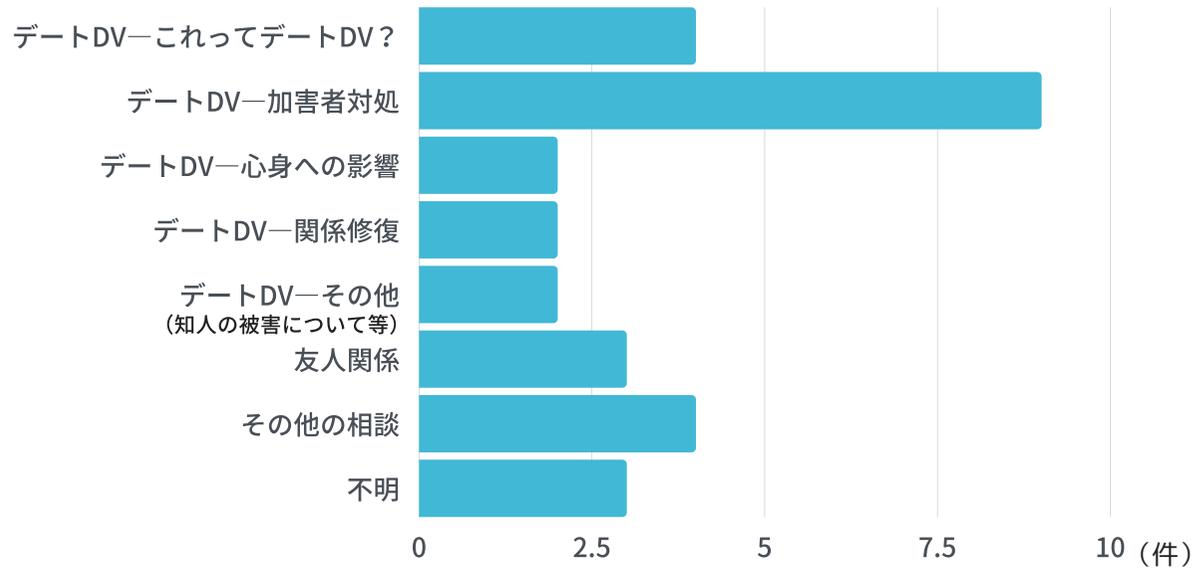
昨日の続きから相談してもいいですか？

もちろんです。カレと話し合ってたって言ってましたね。どうなりましたか？

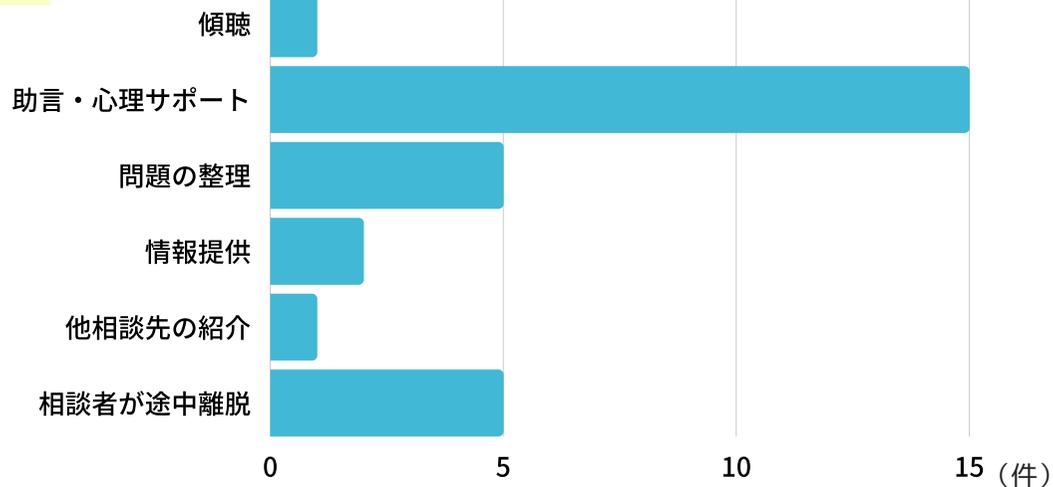


傾向② n = 29

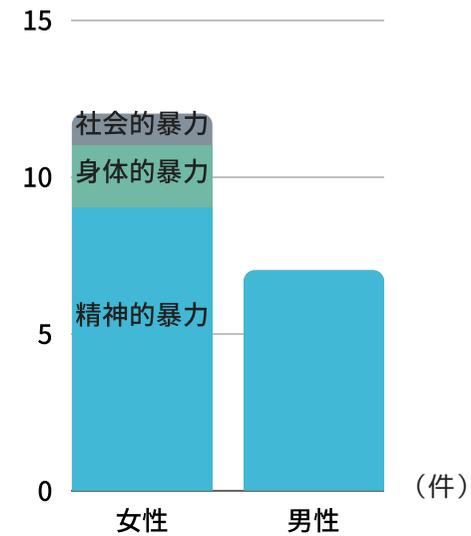
4 相談内容



5 対応



6 デートDVに関する相談（延べ19件）のうち暴力の状況



身体的暴力…叩く、殴る、蹴る
 精神的暴力…暴言を吐く、脅かす、無視をする
 社会的暴力…家族や友人との付き合いを制限する、携帯を見るなど
 交友関係を監視する 等

こんなご相談が寄せられました

- 「元カレからしつこくLINEが来ます。正直怖いです」
- 「相手の束縛が強くて…このまま付き合ってもいいのか不安です」
- 「昨日殴られました。デートDVは治らないのでしょうか」
- 「別れを切り出すたびブチ切られて…どうしたらいいか困っています」

*個人情報保護のため一部加工しています



相談最終日に投稿したメッセージ

*当アカウントに「友だち登録」をしているユーザ全員へ配信

Be good to yourself.

境界線（バウンダリー）という言葉が聞いたことがありますか？
家と家のあいだにかきねがあるように
人と人のあいだにも、目には見えない線があります。

体、気持ち、考え方、性…。
いろいろなところに線があります。

私たちは、お互いに境界線を守りあうことで
安全なカンケイでいられます。
家族や友人、恋人どうしても
同じです。
相手がもし、ふみこえようとしてきたら
NO！と言ってもいいです。

言えないな…というときは
それがなぜなのか
少しじっくりと、考えてみても
いいかもしれません。
モヤモヤしたときは一人で抱えず
信頼できるところに
相談してみてください。

そしてどうか、世界でたったひとりの
あなた自身を大切に。



こんな感想が寄せられました

「悩みを聞いてもらえてすっきりしました！今夜は久しぶりに
ゆっくり眠れそうです」

「距離を取ることが大事だと知りました。時間をかけて相手と話し合いたい
と思います」

「気持ちをわかってくれる人がいるんだ、と元気をもらいました」

「これからはもっと自分のことを大切にしたいと思います」

「相談員さんとのLINEのやりとりを何度も読み返しました。自分がどう
したいのか、しっかり考えられるようになった気がします」

*個人情報保護のため一部加工しています



若年層対象デートDV LINE相談 試行実施報告・検証会

日時：2021年12月2日(木) 16:00～18:00

委員：特定非営利活動法人エンパワメントかながわ理事長 阿部真紀
国立大学法人東北大学准教授 小川真理子
横浜市政策局男女共同参画推進課

委員からのコメント：

- ・男性は暴力被害を相談しづらいと言われているなかで、本事業は男性の利用が3割超あった。広報物に男性のイメージ写真を載せたり、デザインをジェンダー・ニュートラルにしたりなどの工夫が功を奏した。
- ・学校の協力のもと展開でき、啓発的意義が非常に高かった。デートDVの被害は多いが、相談に繋がるのはごく少数。「あなたは悪くない」「相談すれば助けが得られる」というメッセージを若者へ配信できた。
- ・メッセージの一斉配信など、紙媒体にはないLINEの情報発信力を活かしたい。さらに効果的なPRのあり方を引き続き探っていく。